プレゼミナール（辻原担当分・第１回）［月曜日・10:20～11:50・設備システム実験室］

2025.04.14

環境共生学部・居住環境学専攻
辻原万規彦

プレゼミナールの進め方

１．テキスト

必要に応じて，プリントを配付。教科書として，特に購入する必要はなし。

２．スケジュールと課題

04 月 14 日　第１回目

履修登録の確認，今後のスケジュールの説明，これからの学生生活に期待すること，大学で学ぶことの意味

①これからの学生生活でやってみたいこと，期待することを共有してみましょう。

②大学で身につけたいことは何か，それを身につけるためにはどんなことをすればよいか，を共有してみましょう

【この日の授業のための準備】

・特に準備は必要ありません。

【注意】04 月 21 日　第 2 回キャリア形成論（PROG テスト受験）

・小ホールに集合してください。

04 月 28 日　第２回目

大学と実社会，大学の授業スタイル

①大学の「学修」と高校までの「学習」の内容や方法，授業や講義のスタイルの違いを考えてみましょう。

→高校までの「学習」内容や授業スタイルはどのようなものであったか？

→大学での「学修」内容，授業や講義のスタイルはどのようなものか？（今後，どのようなものが実施されると想像されるか？）

②大学でのノートの取り方を考えてみましょう。

→どんなふうにノートを作成すればよいか？

→より理解を深めるためには，どのように大学の講義を受ければよいか？

③10 年後，20 年後，30 年後の自分の姿を考えてみましょう。

【この日の授業のための準備】

・①～③について事前に考えておく。

・自分のノートをいくつか持参する。高校や予備校（塾）のノートでも結構です。

【配付物】

・「将来の進路（行き先）」,「ノートの取り方，講義を受けるために」に関する資料に関する資料
・「テーマの選び方」（05 月 19 日に利用）に関する資料
・「図書館利用方法とインターネットの利用」（05 月 12 日までに目を通しておく）に関する資料

※05 月 05 日は祝日のため講義はありません。

05 月 12 日　第３回目

図書館ガイダンス，国際教育交流センターガイダンス

・図書館入り口に集合してください。

05 月 19 日　第４回目

１ヶ月半の学生生活を振り返って，学修テーマを決定する

①１ヶ月半の学生生活を振り返ってみましょう。
→得られたものは？今後，得られそうなものは？（反省ではなく「振り返り」，今後に活かすことを考えましょう）
②これからの４週間でレポート作成に取り組もうとする学修テーマ候補から，実際に取り組む学修テーマを決定する。→学修テーマに沿って各自でレポートを作成してみましょう。
目標：感想文（自分が思ったことを述べる）からレポート（相手が納得できるように説明する，「なぜ」を説明する）へ

【この日の授業のための準備】

・04 月 28 日に配付した学修テーマの選び方に関する資料を参考にして，最低３つは自分で取り組んでみたいと思うテーマ候補を考えておく。
・それぞれのテーマ候補について，どうして（なぜ）そのようなテーマ候補を選んだのか，も１人５分程度の持ち時間で発表（説明）できるように準備する。
・A4 版１～２枚程度の配付資料を，各自で６部（学生５人＋辻原１部）ずつ準備して配布する。

【配付物】

・「レポートの書き方」に関する資料

05 月 26 日　第５回目

レポート作成のための素材を集める

①05 月 19 日に決めた学修テーマでは，具体的にどんなことをどんな方法で調べて内容を深めていくのか，どのようにして素材を集めるか，を１人 10 分程度の持ち時間で発表（説明）しましょう。

【この日の授業のための準備】

・学修テーマに沿って，実際に調べる方法を考えて，発表する。どこで（何で）調べるのか，を考える。その際，できるだけインターネットのホームページは使用せずに，できるだけ本（書籍）を読む癖をつけたい。

・調べてみた内容についても，少しでもよいので，あわせて発表する。

・A4 版１～２枚程度の配付資料を，各自で６部（学生５人＋辻原１部）ずつ準備して配布する。

【配付物】特になし

06 月 02 日　**第６回目**

レポートの章立てや構成，内容案を考える

①どんな章立てにしてレポートを作成するのか，レポートの第一案を考えて，それをもとに１人 10 分程度の持ち時間で内容を説明しましょう。

【この日の授業のための準備】

・05 月 19 日に配付されたレポートの書き方に関する資料を参考にして，レポートの章立てや構成，内容の案を作成する。その際，05 月 26 日に出された他の受講生からの意見や助言を参考にする。

・レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。作成するレポートの枚数や形式は，特に指定はしない。各自で自由に決める。

・発表の際には，レポート第一案を，各自で６部（学生５人＋辻原１部）ずつ準備して配布する。

【配付物】

・「プレゼンテーションの方法」に関する資料

06 月 09 日　**第７回目**

レポートを提出して，発表する

①レポートの内容を１人 10 分程度の持ち時間で発表しましょう。

②発表では，できればパワーポイントなどのソフトも使ってみましょう。

③採点表を使って，他の人の発表について評価してみましょう。

【この日の授業のための準備】

・06 月 02 日に出された他の受講生からの意見や助言を参考にして，最終レポートを作成する。レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。枚数や形式などは，特に指定はしない。各自で自由に決める。

→最終レポートの本体は，辻原のみに提出すればよい。

・06 月 02 日に配布されたプレゼンテーションに関する資料を参考にして，発表を準備する。

・発表の際には，レポート本体とは別に発表用配付資料（A4 版１～２枚程度）を，各自で６部

（学生５人＋辻原１部）ずつ準備して配布する。

【配付物】特になし

３．参考図書（順に，書名，編著者名，発行所，発行年月，本体価格，ISBN 番号，熊本県立大学図書館所蔵情報（〔〕内）。）

［1］**『大学生入門　３訂版』**（高橋三郎・新田光子，世界思想社，2009年３月，1,300円＋税，ISBN：978-4-7907-1394-4）〔書庫（４Ｆ），377.9||Ta 33，0000323285〕〔電子ブック，5000000197〕

→初版（2001年６月，ISBN：978-4-7907-0881-0）〔書庫（４Ｆ），377.9||Ta 33，0000249269〕，改訂版（2006年２月，ISBN：978-4-7907-1167-4）〔書庫（４Ｆ），377.9||Ta 33，0000300324〕もあり。

※以下の参考図書でもよいかもしれない。

・『大学新入生ハンドブック』（世界思想社編集部編，世界思想社，2014年11月，520円＋税，ISBN：978-4-7907-1641-9）〔食育（１Ｆ），377.9||Se 22，0000364024〕〔電子ブック，5000000195〕

［2］**『スタディスキルズ・トレーニング　改訂版　大学で学ぶための25のスキル』**（吉原恵子・間渕泰尚・冨江英俊・小針誠，実教出版，2017年10月，1,200円＋税，ISBN：978-4-407-34061-7）〔就活・レポート（１Ｆ），377.15||Y 87，0000379748〕

→初版（2011年６月，ISBN：978-4-407-32243-9）〔和書（２Ｆ），377.15||Y 87，0000342518〕

［3］**『アカデミック・スキルズ　大学生のための知的技法入門　第３版』**（佐藤望編著，湯川武・横山千晶・近藤明彦，慶應義塾大学出版会，2020年２月，1,000円＋税，ISBN：978-4-7664-2656-4）〔就活・レポート（１Ｆ），377.15||Sa 85，0000386409〕〔電子ブック，5000000089〕

→同じ出版社で，同じ「アカデミック・スキルズ」シリーズにいろいろな分野の本がある

→第２版（2012年９月，ISBN：978-4-7664-1960-3）〔和書（２Ｆ），377.15||Sa 85，0000352556〕，初版（2006年10月，ISBN：4-7664-1324-5）〔書庫（４Ｆ），377.15||Sa 85，0000304262〕

［4］**『大学生　学びのハンドブック　勉強法がよくわかる！　６訂版』**（世界思想社編集部編，世界思想社，2024年３月，1,200円＋税，ISBN：978-4-7907-1791-1）〔就活・レポート（１Ｆ），377.15||Se 22，0000400213〕

→５訂版（2021年２月，ISBN：978-4-7907-1749-2）〔和書（２Ｆ），377.15||Se 22，0000390348〕〔電子ブック，5000000201〕，４訂版（2018年１月，ISBN：978-4-7907-1707-2）〔和書（２Ｆ），377.15||Se 22，0000378893〕，３訂版，改訂版，初版もあり

４．担当者

教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）４階南西角

電話：096-383-2929（内線 492），096-321-6706（直通）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

※何かわからないことがあれば，e-mail，Canvas LMS で質問してください。

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）３階南西角・田中研究室／４階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線 482（助手室）／内線 475（田中研究室））

e-mail：okamototkm@pu-kumamoto.ac.jp